



仙台いのちの電話

相談電話 **022(718)4343**

インターネット相談 <https://www.inochinodenwa.org/>

いのちの電話ネット相談

検索

フリーダイヤル **0120(783)556**

(毎月10日)

24時間受信
年中無休



いのちの電話とのつながり

三好 敏之

大学院時代に障害児専攻を学び、教育現場で働き始めてカウンセリングを学びました。ある日、保護者相談で自分の価値観を伝えていることに気づきました。そのことを先輩カウンセラーに相談したところ、いのちの電話の相談員養成講座への参加を勧められたのです。その縁で神戸いのちの電話の養成講座を受け相談員になりました。その後、三十二年間在籍しグループ研修では傾聴の難しさを学びました。

仕事で仙台に来て、大学の先輩である仙台いのちの電話の専門委員の水田先生から、「ご自分も専門委員をされている仙台いのちの電話の専門委員として活動の機会を与えていただきました。」

専門委員としてグループ研修活動を担当するようになって、相談員の方々が真摯に傾聴する姿や対応を振り返る研修を通じ、自分自身も多くを学び、人間的に成長する機会をいただいています。今期初めて相談員の宿泊研修に参加し、二日間、相談員や他の講師の方々と交流できたことも大変貴重な経験となりました。

仙台に来て四年目を迎え、自然の豊かさ、風情のある文化や相談員の人の深さに触れ、充実した日々を送ることができていることに感謝しております。相談員の方々と今後も一緒に傾聴について学んでいきます。

(尚絅学院大学心理学類教授 仙台いのちの電話専門委員)

2020年
4月開講

第47期相談員養成講座受講生募集

いのちを支えたい!
24時間 鳴りつづける電話
あなたの力が必要です

応募資格：22歳以上の方で心身共に健康で、「いのちの電話」の趣旨に賛同し、月2回以上のボランティア活動および、相談員認定後の所定の研修に参加できる方。

応募方法：下記書類をお送りください。ホームページからも送信できます。↓

- ①申込書 ②応募動機(A4横書き 400字程度)
③私が影響を受けた人や出来事(A4横書き 800字以上)
*募集要項・申込書はホームページからのダウンロード、もしくは事務局までご請求下さい。



募集期間：2019年12月1日～2020年2月29日

定員：30名(仙台20名 石巻10名)

研修費用：22,000円 別途宿泊研修費用の一部負担があります。

研修会場：仙台/石巻 公的施設を利用します。

面接日：2020年3月21日(仙台)※面接はグループ・個人面接併せて40分程度。

会場と詳しい日時は応募書類受理後、郵送でご連絡します。

研修概要：①2020年4月～2020年12月 …12月に仮認定。

*グループ演習を中心に、講義、宿泊研修を行います。

②2021年1月～2021年7月 …相談電話実習

事前説明会・ミニ講演会

講師：専門委員・尚絅学院大学教授 三好敏之

2019年12月22日10時30分～12時
仙台市シルバーセンター 6階第2研修室

予約不要
無料です

お問い合わせ(関係書類送付先)

社会福祉法人 仙台いのちの電話 事務局 (月～金曜日 10時～17時)

〒981-8691 仙台北郵便局私書箱26号

TEL 022-718-4401 FAX 022-718-4431

仙台いのちの電話ホームページ

編集後記

相談担当で自宅から自転車センターへ向かう。道程は坂道の連続で登ったかと思うと、すぐ下り坂となってペダルを休めて風を切って走る。そして、また目の前には登り坂が迫ってくる。ペダルを踏み続けなければ坂道は登れない。これの繰り返しだ。

104号は、相談員を30年続けられた方々に活動を振り返っていただきました。これまでの長い経験の中には、上り坂も下り坂もあったことでしょう。うつろう季節の中には雨の日も晴れの日もあったことと思います。時雨に日射しが射し込むときに醸し出される虹、長い経験がいのちの電話の活動を虹色に例えています。今号は、その道のりのスタートラインに立った新相談員と、7年間歩んでこられた相談員の想いも伺いました。皆さんそれぞれの温かい熱意が伝わってきて嬉しくなりました。(K・S)

社会福祉法人 仙台いのちの電話

事務局 〒981-8691 仙台北郵便局 私書箱26号
<http://sendai-inochi.jp.org/>

発行人 飯岡 智

編集 仙台いのちの電話広報委員会 Tel.022-718-4401

印刷 株式会社 市瀬 Tel.022-232-3520

“LGBTはご存じですか”

仙台いのちの電話 専門委員（精神科医） 千葉 健



診療所を訪れた 30 歳の男性は、職場を休みがちとなり、或る日、約 1 ヶ月休養を要するうつ状態の診断書を提出し、職場の健康管理室に自ら出向いて「最近、同性のパートナーと別居して不安定で、周囲から嫌われている様で人目が気になって落ち込み、仕事に集中できない。LGBTであることを周囲に打ち明けるべきか悩んでいる。」と、保健師に訴えました。本人の承諾を得て先ず、信頼できる上司に悩みを理解してもらい、職場復帰をしてから安定した時期に、周囲にも告げることで、気分は徐々に回復しました。

LGBT とはレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの略で、生物学的性（身体的性）、社会的性意識（心の性）、パートナー（性対象）が必ずしも一致をみない人々です。10 人に 1 人は存在しますし、多くの人にこの傾向の程度は様々ですがみとめられます。

身体的性に関しては、男女とも胎生 8 週目まで同じで、男性は Y 染色体からのホルモンを浴びて女性性を失い、女性は浴びずに男性性を失い、それぞれ成長します。心の性は、早期から気付かれることから、5 年前に文科省はセクシュアルマイノリティーである生徒への対応、医療機関と連携した支援のため相談しやすい体制を提唱しました。

医学的には生物学的性と心理社会的性が異なることから性同一性障がいと言われたのが最近は性別不一致と呼びます。心の性を身体的性に合わせることは無理に行うとうつ状態等の心の病に繋がることがあり、精神科、婦人科、泌尿器科、形成外科の各認定医の揃ったジェンダークリニックが専門治療に当たります。

おとなしく目立たない子で親しい友達が少なく、保護者も担任も原因として思い当たることがない不登校児がカウンセリングの中で、第二次性徴時に男性らしくなる事に違和感を抱き、食事制限や筋肉が付かないように運動制限をしたと語っていました。

対応としては、本人の自尊心や感情、そして呼称にも配慮しながら言い分を否定しないで聴き、長い目で成熟を見守り、同時に家族の気持ちに理解を示し、可能な限り受容的な助言をして、学校や職場と共に、医療的には中立的な環境調整をしていきます。

セクシュアルマイノリティーの 10 代男子の半数がいじめを受けており、中には不登校や、自傷を起こすことがあります。もしも、背景にその子の発達特性や虐待等の有無の確認が必要になる場合は、対応可能な専門外来との丁寧な連携が望まれます。

想



新相談員になって

研修が始まった頃は私にできるのかとても不安でしたが、普段では学ぶことが出来ない内容が多く、得られたものも多かったと思います。その研修の積み重ねが私の中の小さな自信の積み重ねになりました。私で役に立てるなら多くの方の声を聴きたいと思っています。

そして 1 年 4 ヶ月の研修をやりきれたのは共に学んだ仲間と最後まで丁寧に指導くださった先輩方の存在が非常に大きいと思います。ありがとうございました。(S・R)

1 年 4 ヶ月の研修の後半より、実際に自分で電話を受ける訓練を始めました。その中で、役に立った事はグループ研修でした。活動報告を皆さんに

聞いていただき、その中でいろいろな意見が出され、それを共有することができた事でした。それは、今、実際に受けている時に、大変役に立っています。いい緊張を持ち、かけ手に寄り添う気持ちを忘れないように一期一会の精神で継続していきたいと考えています。(K・Y)

いのちの電話は、以前からポスターや新聞等で知っていて、とても興味がありました。なんとなくではありますが、子育てもひと区切りがつき、これからの 50 代の人生を豊かなものにしたい。困っている人、悩んでいる人に微力でも力になりたいと思い、思い切って相談員の募集に応募してみました。

初心を忘れずかけ手の気持ちに寄り添えるような相談員になります。(K・A)

電話相談研修を始めたときの感想は「びっくりすることばかり」でした。帰宅後の着替えも億劫なほど疲れたこともありました。自分のこれまでの経験なんて取るに足りないちっぽけなものだった



「今を生きる（Carpe diem）」

自死遺族支援の組織や団体にはいくつかの全国規模のネットワークがあります。先日その活動の一つである全国研修会に参加しました。そこでの講師の発言の中に「若年層の自死と死生観の有無の相関関係についての発言」がありました。『子供にはきちんとした死生観を教育しなければならない』この言葉に対して、ある遺族が『私が、子供に死ねば地獄に落ちるから死んではいけないと、厳しく教え込まなかったから、子供は自死したのだということですか』と質問しました。そこでのやり取りを聞いていて、私はいたたまれない思いがしました。10 代から 30 代の多くの若者の自死がなぜ減少しないのか。その一因を死生観に求める発言は、自死遺族家族にとって過酷なことだと感じました。

死生観そのものの解釈も、死をどのように受け止めるのかで変化します。生きることの最後の到達点。人生の完成としての死。苦しみの果ての安らぎの眠りとしての死。第一の命を生きて、さらに新たないのちへの扉としての死。自らの命の使命を果たして幸いな世界へ旅立つ死。現世を生きて大いなる神秘と融合する。……様々な死の受け止めがあります。確かに言えることはそれぞれ

の命をそれぞれの精いっぱい力で生きてゆき、それぞれの死を受け入れてゆくということです。そこに命の尊厳があります。

すみれの会の中で、遺族の方々が亡くなった方の死の直前の様子と、亡くなった後のご自身の悲嘆と、希望が絶望に代わっていく苦しさを語られます。やがて、ご自身の気持ちを過去から現在へ、いつしかまだ見ぬ明日へと開かれてゆくときが訪れます。そして、亡くなった方の死のみではなく生きてきた姿と想いを語り始める。その時死は、いのちの物語に繋がるのです。すみれの会はそのための場所です。

「すみれの会」のご案内

「すみれの会」は自死により大切な人をなくされた方が安心して参加できる、語らいの場です。

開催日時：毎月 2 回 13 時～15 時
第一土曜日：自死で大切な人を亡くされた方（家族／友人など）
第三水曜日：自死でご家族を亡くされた方（家族限定）

参加費：300 円
会場：仙台市市民活動サポートセンター
（地下鉄南北線広瀬通駅 西 5 番出口前）

んだなあをつくづく思いましたし、そういうことに気が付けて良かったというのが今の気持ちです。不安はありますが研修で学んだことを振り返りつつ、精いっぱい、お話を聴かせていただこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。(S・K)

「2 回目のリフレッシュ研修に参加して」

秋保に向かう車中で、最初のリフレッシュ研修を思い出していた。養成研修中時代に大地震に遭い、生活が一変したことで挫折しかけ、それを乗り越えての 3 年目、ようやくここまで来たという大きな喜びと感激があった。その時に比べて、今回のこの落ち着きは何だろう。余裕か、それともマンネリか…。そんなモヤモヤした気持ちで研修に臨んだ。

テーマは「発達」。日々、体力、知力の衰えを感じる昨今、私とは無縁のものと思ったのは、大きな間違いだと徐々に気が付いていく。

人は母親の胎内にいる時から多くのものを学び、この世に生まれ出た瞬間から驚くべき能力を発揮す

る。その後成長し、大人になり、そして老化という避けがたい現実にあふつかかる。しかし、高齢者と呼ばれる私達にも、生涯発達する力があるという。これまで磨いてきた感性や、積み重ねてきた経験が衰えた能力を補い、人格的な成熟が有効に活用されるという。第二の人生に幸せを感じるには、自分が本当にしたいことを選択することが大切であり、それには無理をせず、分量を減らしたり周りの力を借りたりしながら、自分なりに発達していけば良いということを知り、これまで漠然と感じていた自分の生き方にも、通じるものがあると確信した。

これこそ、まさに「リフレッシュ」ではないか。それを教えてくださった講師の先生に感謝しながら、同期との語らい、温泉のぬくもり、美味しいランチを心ゆくまで楽しむことができた。

これからは、寄る年波に逆らわず、五感を研ぎ澄まして、ゆるやかにしなやかにいのちの電話に関わっていきたく、思いを新たにしたい一日であった。(E・N)

注：相談員認定後 3 年目、7 年目にリフレッシュ研修があります。

仙台いのちの電話 とともに30年



「はい、仙台いのちの電話です」、1982 年秋も深まる 11 月 1 日の午後 3 時に最初の第一声が相談室の黒電話に流れました。それから 37 年が経ちました。
今年、30 年継続表彰された 4 名相談員の方々にこれまでの活動を振り返っていただきました。

いのちの電話を知り、相談員になろうとしたきっかけは？

- 地元のコミュニティセンターで一緒に図書活動をしていた先輩友人が応募用紙を持ってきて相談員を勧められ、考える暇もなくレールに乗ったのが始まりでした。
- 相談員養成研修が魅力的でした。知人から人間関係基礎訓練（感受性研修）について聞いて応募しました。
- 電話番号案内の仕事をしていて、毎日かけてくるお年寄りが複数いらして他愛のない話の相手をするがありました。そんな時、相談員募集の新聞記事を見て「何か役に立てれば」と、軽い気持ちで応募しました。
- 新聞でボランティア募集を知った友人から誘われたのがきっかけです。当時のノートの最初のページに、「聴く力・心の広さ・成長に向けて自らが変化させられていく覚悟」と書き留めてあり、熱い気持ちを持っていた自分を思い出します。

相談活動を継続できた秘訣は？

- 相談員活動が日常生活の一部となり、生活に深く根差しています。それで、今日まで続けてこられました。
- 秘訣は特にありません、いつの間にか 30 年が経っていました。相談員になってからも続く研修は多彩であり、ボランティア仲間（相談員、諸先生ほか）からの学びも多い。自己成長の場だったからでしょうか。
- あまり無理をしない事。自分のできる範囲で約束を守ればと考えてこれまできました。相談以外で大きかったのは、信頼できる人に出会って、何でも話せたということです。
- 一番は家族の理解です。そして、相談員仲間と出会って様々な研修を通じての学びが楽しく、自分の成長を実感できました。苦勞の分かち合いも言葉で表現できない大きな励みになりました。

相談員活動での一番の思い出は？

- 当時の甲原先生（元研修委員長、元理事長）が話された「この団体には上下関係はない」。この言葉が相談員活動やみんなで作上げていこうという気持ちの支えとなりました。
- 東日本大震災直後の相談活動では、悲惨な状況下、自分に出来ることとして相談を受けられたこと。同じ被災者として少しでも気持ちに寄り添えたらと願いました。
- 一番は難しいです。ある日、会話の中で「とにかく話を聴いてほしい」と言われ傾聴を続けました。その後、相談者の方ご自身から「聴いていただいて決心ができました。決断した夫を支えます」と言ってもらって相談を終わった時です。
- 14 年前、現在のセンターが新築されました。随所に相談員の意見が反映されたセンターの完成を誇らしく思いました。「完成を祝う会」での仲間の喜ばしい顔、市長の祝辞、祝宴での演奏を今も心地よく思い出します。相談員仲間達とのりんどう湖へのバス旅行も楽しい思い出です。

苦い思い出がありましたら

- 今年 5 月に左足首を骨折し 1 ヶ月のギブス生活となりました。この足では駅からセンターまでの道を歩けないだろうから活動に終止符かな、と頭をよぎり辛かったです。今は「LL の小路」と心の中で名付けたこの道のプラタナスの四季折々の変化を、また楽しめるようになりました。
- 途中で電話を切られたこと。何回もあります。そのたびに、自分の相談員としての未熟さを知らされました。
- 「コンビニ以外には出られない。家の中は足の踏み場もない」という相談者に「溜まっているゴミを袋につめて一個ずつ出せるといいよね」と相談を終了。直後に、「しまった！」

何もできないと悩んでいたのに」と後悔しました。
• 相談員になって最初の電話を受けた時、かなり緊張していたので「はい、〇〇です」と名乗って出てしまいました。途端に切られてしまいました。その後、動転したまま最初の当番は終わってしまいました。

「いのちの電話」色に例えれば何色ですか？

- 虹色です。いろいろな色があるし、なんといっても希望があるからです。
- 虹色。色々な魅力的な人達が活動しています。
- 暖色。

仙台いのちの電話自死遺族支援事業「すみれの会」主催

森川すいめいさんの講演会

2019 年 10 月 14 日に「開かれた対話」を実践している森川すいめいさんの講演会を開催しました。参加者からのレポートです。

森川さんは自殺でなくなる人の少ないフィンランドで「オープンダイアログ」を学んだそうです。

その取り組みの基本は、

- ①本人のいないところで本人のことを決めない
- ②チームでかかわる
- ③次の七つの原則を守る
 - ・ 即時に助ける
 - ・ 多様な考え方を招いていく
 - ・ 柔軟かつ機動的に（人が仕組みや組織に合わせるのではなく、組織が人に合わせていく）
 - ・ 責任（できることはし、できないことは相談できるような体制を作っていく等）
 - ・ 心理的な連続性（相談を受ける人は同じ人のほうがいいし、交代しなければならぬならしっかりと申し送りがなされている状態）
 - ・ 不確かなことへの耐性（明瞭な答えというものは存在しない。プロセスに寄り添っていく）
 - ・ 対話（聴くことと話すことが丁寧に分かれ丁寧に重ねられる）

こうしたオープンダイアログの基本的な考え方が紹介された後、参加者全員で「話す・聴く」ことを分けて体験するワークショップを行いました。ワーク後の質疑応答の中では「実際にオープンダイアログの実演を見たい」という要望があり、会場からクライアント役 3 人と、セラピスト役 2 人の参加でデモンストレーションとなりました。参加者自身が状況設定を行い、実際に「開かれた対話の場」の実践が始まりま

した。森川さんは座る位置も「どうぞ自由に」と促し、患者役と母親役、就労支援員役からそれぞれのいきさつなどを丁寧に聴いた後、森川さん



オープンダイアログのデモンストレーション。中央に森川さん。

を混えたセラピスト役 3 人は、クライアントが聞いている前で、話をどう受け止めたかを話し合いました。これがまさしく「本人のいないところで本人のことを話さない」であり、さらに「改めて話してみたいことはありますか？」と対話が展開していきました。ここでは、話すことと聴くことがオープンで、かつ、参加者はフラットな関係性を常に維持することができていました。

この対話での「透明性・嘘がない・解釈しない・判断評価をしない」ことが、患者本人の安全性に寄与しており、参加者達の感情がジャズのセッションのように関係性を持って揺れ、話すことが沸いてくる感覚になっていくそうです。

デモンストレーション後に参加した患者役が、ただ一言「安心感がある」と感想を語ったのがとても印象的でした。

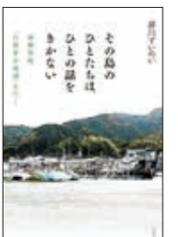
3 時間の講演会でしたが、あっという間でした。オープンダイアログの実践を継続していくのは気苦勞も多い大変なことなのかなと思われました。基本となる七つの原則は、私たちの活動も含め、様々な場面で重要であり、そのように心掛けていこうと思いました。(S・H)

◎森川すいめい著作物

「その島のひとたちは、ひとの話をきかない—精神科医、「自殺希少地域」を行く—」（青土社）

◎森川すいめい略歴

1973 年、東京都生まれ。明治国際医療大学を卒業後、鍼灸院を開業したのち、日本大学医学部に入学。埼玉県病院での研修を経て、独立行政法人国立病院機構・久里浜医療センターに勤務。現在は板橋区みどりの杜クリニック院長として、「開かれた対話」療法に取り組んでいる。



第36回いのちの電話相談員全国研修会 おかやま大会に参加して

2019年10月24日(木)～26日(土)
於：岡山プラザホテル、岡山国際交流センター

今回は、3年に一度の「第16回アジア太平洋地域電話カウンセリング国際会議」が同時開催され、韓国、台湾からの参加を含め、480人が集い、仙台からは19人が参加しました。

基調講演1.「心のこと」

黒住教名誉教主 黒住 宗晴氏

- * 講師の「美しいものを美しいと感じる美的感覚、情緒は大切なものである」「目で聞いて耳で見る。手で考える、足で覚える。心の中心にあるものが魂…」「利口であってもかしこくならないか」「人は死んだら終わりと思わずに、新たな出発ととらえる」…など、たくさんの言葉が心に残りました。(N・M)
- * 人を思いやる心は、どんな状態の人にもでもあり、通じ合うことができるのだ。…私たちはどうしても、目に見える部分や耳に聞こえることを通して理解しようとするが、一人一人の人間の内部にある仏教でいう阿頼耶識(あらいやくし)に信頼を寄せて理解していくことが大切なのだと改めて気付かされた。(H・H)
- * 日本の数学者の岡潔(おかきよし)氏のエピソードで「数学には何が大切か、それは美しいものを美しいと感じる情緒が大切」。という言葉が印象に残りました。(M・M)

基調講演2.「生きたいという気持ちを紡ぎだす」

慈圭会精神医学研究所所長 青木 省三氏

- * 現代の若者はコミュニケーション能力や社交性が求められており、能力主義のため非効率性が排除されて、口下手やゆっくりじっくりタイプの人間には生き

にくい世の中になっている。生きづらい若者を支援していくためには、苦手に焦点を当てがちであるが、苦手を反転できるよ



全国研修会おかやま大会初日の開会式

- うとらえていきたい。何よりも、人生を楽しむ姿勢が最大の薬となるのである。私も、考えることより、小さなできることを積み上げることの重要性に共感することができた。小さなイエスが人を育てるのだと改めて感じた。(H・H)
- * 子どもたちは可愛がられないといけな。それが大切なこと。体験を通じて何かをすることが大切だ。体験を貯金していくことが大切。心の傷があっても人は安全な場所で自由になれる。人生を楽しむことが最大の薬になる。親も息抜きや遊びが必要である。…との言葉が印象に残った。(N・M)
- * 事例を示しながら、現代の子どもや若者の気持ちに寄り添うことでお互いが交流をはかっていくことの大切さを学ばせていただいた。(S・K)
- * ひきこもりの青年が立ち直るまでの精神科医のサポートが印象に残りました。勉強をして大学に入る。というよりも大学に入ってからみっちり勉強をするという柔軟な考え方は驚きでした。(M・M)

やま大会はもうここから始まるのだ。会場へ向かう車窓からは仙台に似た街並み。仙台から一緒に参加した仲間達と大会二日目の研修終了後、心地よい疲れを伴いながら郷土料理「かくし寿司」を楽しむ。「藩主池田光正の俵約令に反発した町民が一計を案じまして…」説明を終わってお重の蓋をあけると一面の錦糸卵?!。促されてさらに蓋を返すとそこには豪華な海の幸がぎっしりで、おもわず歓声が上がった。おいしい郷土料理に舌鼓を打ちつつのおしゃべり。これも忘れられない思い出のひとつ。三日目の閉会式では来年の開催担当の「三重いのちの電話」相談員の方々が忍者の衣装でのパフォーマンス。研修会ではあるけれど、頭に浮かんでくるのは伊勢神宮・英虞湾・熊野古道…。岡山を去る前に、もう来年の三重大会を楽しみにしている私。やっぱり、全国研修会は欠かせない、みなさん、一緒に来年の三重大会に参加しませんか。(M・M)

参加しての感想

- * 今回は海外からの参加もあり、各国の実情と施策の違い、国民性とも思える電話に対する向き合いの違いがあるのを知った。「いのちの電話」の存在自体をアピールし広めていこうとする施策は、そろそろ日本でも考えていかねばと思った。「いのちの電話」の活動は一体何がベースになっているのか。との葛藤が基調講演から始まったプログラムから伺えた。「いのちの電話」自体に哲学はないのだろうか。学会が哲学的にカテゴライズしようとしている方向性と電話口という現場の個々人の対応との調和の必要性を痛感した。相談員としては概論も大切だが、一期一会という瞬間にどう対応するのか、というパーソナルな部分での応用に寄与するプログラムがもう少し多くあって良かったと思った。(S・H)
- * 新幹線を乗り継いで着いた岡山駅は正直遠かった。改札口で出迎えてくれた岡山の相談員と挨拶を交わす。初めて出会う仲間との距離が一気に縮まる瞬間、おか

資金ボランティア

2019年6月1日～2019年10月31日受付 [敬称略・順不同]

ありがとうございます。
皆様のご支援で24時間「仙台いのちの電話」はつながっています。

維持・賛助(個人)

会 田 久 子
秋 山 弘 子
安 住 しげみ
安 部 仁・芳 枝
阿 部 よし子
飯 岡 智
茨 木 茂 子
海老名 せい子
遠 藤 和 子
大 友 健 行
大 沼 セツ子
片 倉 由美子
金 子 英 次
兼 為 美佳子
鹿 股 英 生
菅 野 清
菅 間 進
菊 地 伊津子
菊 地 正 剛
木 下 惇 子
熊 谷 勝 子
小 堺 千枝子

今 野 まさ子
齊 藤 義 子
酒 井 高 男
酒 井 貞 子
佐 藤 和 子
佐 藤 かち子
佐 藤 牧 人
佐 藤 ヨシ子
サ ノ カツシ
篠 原 瑞 枝
嶋 田 順 好
庄 司 あや子
庄 子 邦 子
新 宮 幸 子
菅 原 慶 夫
鈴 木 俣 寿
鈴 木 成
須 藤 き い
関 口 秀 和
高 森 順 子
出 村 和 子
寺 島 順 子
富 田 敏 夫
芳 賀 盛

橋 本 榮 一
平 賀 ノ ブ
深 野 せつ子
堀 江 直 子
本 田 十三男
本 田 登代子
村 上 瑞 穂
山 口 千 鶴
山 崎 剛
山 家 雪 雄
横 尾 ひみ子
吉 田 淳 子
匿名 7名

維持・賛助(団体)

聖ドミニコ女子修道会 中島丁修道院
特定非営利活動法人 仙台明るい社会づくり運動
東日本電信電話(株) 宮城事業部
林香院 座禅会
(宗) 輪王寺

一般寄附・その他(個人)

末 松 涉
匿名 2名

一般寄附・その他(団体)

河北新報社
(株) ジー・アイ・ピー
広瀬川倶楽部
わたしの雑貨&セラピーらべんだあ

チャリティ自販機

かまどや大衡店
(株) TGサポート
(学法) 宮城学院女子大学

仙台いのちの電話

センター内チャリティ(クッキー売上)

募金 CAN

佐 藤 頼 子

いのでんマルシェ協力団体

アイリスオーヤマ(株) (株) 青葉ガーデン 一乃庵 米工房いらい (株) ウジエスーパー (合資) 亀兵商店 サンモール一番町商店街振興組合 白松がモナカ本舗 (株) 清月記 仙台キリンパブリックサービス(株) (株) 仙台三越 たかはしきもの工房 (株) タゼン (株) チバ文具 (有) 東北いちば	東北親葉(株) 常盤洋紙(株) ニコニコのり(株) 仙台店 (株) 平孝酒造 (株) 藤崎 ホームセンターダイシン マルニ食品(株) マルホン(株) 三島食品(株) 仙台営業所 三菱鉛筆東北販売(株) リブレマルシェ わたしの雑貨&セラピーらべんだあ (株) 渡辺海苔店
--	---

法人寄附額 60万円

活動報告

2019年

- 6月23日 仙台いのちの電話つどい(仙台センター)
- 7月13～15日 46期宿泊研修会
- 7月20・21日 相談員一泊研修会
- 9月 7日 45期生認定式
- 9月11日 仙台市自殺対策連絡協議会
- 9月22日 石巻市福祉まつり(ミニバザー)
- 9月28日 相談員リフレッシュ研修会
- 10月14日 自死遺族支援事業公開講演会 講師 森川すいめい
- 10月19日 後援会主催「いのでんマルシェ」(一番町藤崎前)
- 10月24～26日 相談員全国研修会 おかやま大会
アジア太平洋地域電話カウンセリング国際会議(岡山市)
- 11月 5日 後援会主催 舘野泉&草笛光子コンサート(電力ホール)



2019年6月23日
つどい



2019年7月20・21日
相談員一泊研修会



2019年11月5日
舘野泉&草笛光子コンサート
(電力ホール)



2019年9月22日
石巻市福祉まつり(ミニバザー)



2019年10月19日
後援会主催 「いのでんマルシェ」
(一番町藤崎前)